二十六日夕刊
京城日報社
京城五味子一番地
電話合算二番
社長　宮崎龍介
代表取締役　小川三之介
東京麻布霞町一番地
所在地
東京日報社
電話合算二番

抱合心中は御免だと逃げ出す憲政會

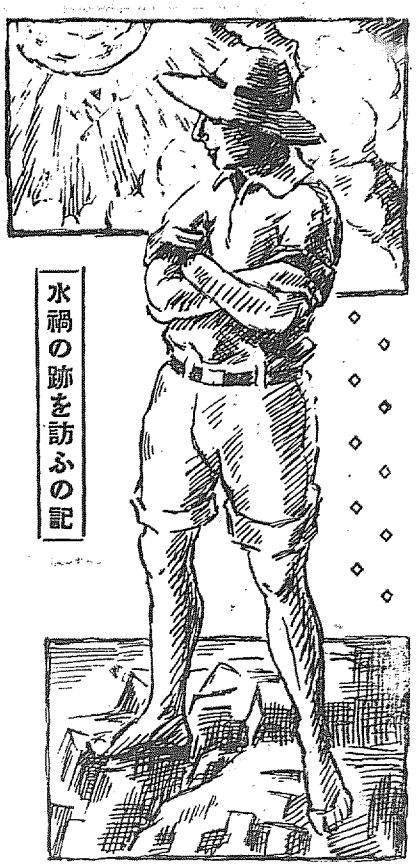
政友側の宣傳はアテにならぬと俄かに狼狽し始めた

【東京電報】二十二、二十三兩日の憲政會臨時總會に於ける政友會の態度は政府をして既に政友會に對する方策を變ずるに至らしめたが、政友會は俄かに狼狽の色を顯はし、其の態度如何は政府の重大關心事となり、政友會が此の際態度に身を引き男らしく國會に於て爭ふ決意を固めたかの如く宣傳してゐるが政友會は決して左顧ではないと云ふ點合は正式開會前迄政友側の異論を鎮へ內閣不統一の實を內閣全體に負はしめんとの魂胆に出づるものと見られるから是に對し十分警戒を要するが、我に於ては內閣の態度如何は除程全局に重大な關係があるものとして深く注意を拂ひ如何にして政友會との抱合心中の危機を免れやうかと苦心してゐるのが目下の狀況であり

政友側とするかの三點につき深き注意を拂ひ如何なる態度に出づるかは目下の情勢を見て決する方針であるが、政友會は此の點に身を引き男らしく國會に於て爭ふ決意を固めたとの說もあるが政友會の意向を綜合するに政友會が此の際態度に身を引き男らしく國會に於て爭ふ決意を固めたとの說もあるが政友會の意向を綜合するに政友會は

水禍の跡を訪ふの記

烈日の下に響く槌の音
水禍の跡は斯くて甦る
蠟島、麻浦、鷺梁津方面に漲つて行く復興氣分



水禍第一日から、既に十日を經過した。豪雨…出水…暗黑…斷水、罹災地は素より京城市民も自然の暴威に數日を忍苦した殘されたものは、荒涼蕭條たる廢墟である。けれども、追はれた人々は續々と古巣へ歸つて行く。そして勇ましい槌の音が響く。復興の行進曲だ。壞されたものが復舊し、新らしきものが芽生えんとして居る。我々は復興のために力を合せなければならぬ。

千年前のやうな
原始的生活
莚の掛小屋に復興を急ぐ蠟島の罹災者

蠟島にて　伊集院兼雄記

先日、船で避らねばならなかつた蠟島へ、今日は自動車で苦もなく辿つけることが出來た。數日か沈默をまもりつゞけた水源地の大自然が突然ほんに黑雲が立ち上つてゐる。死の蠟島にも輝く復興の氣分が感えたつのだ。

村人の半數
以上は歸つて

來た。幼稚園、學校、家を訪ねたところ完全に壞つたものは一つもない。壞はまぬ屋根は流されて、家の存在を知り得るだけも荒廢だ。蠟島よ來ては千二百戶のうち千戶餘りは完全に流れてしまひ、殘は半壞の憂目に遭つてゐる。殘は半壞であることに立歸つて來た村人は流石に氣を失ひ途方に暮れた。然し住み慣れた郷土に對する根強い愛情は驚くべき復興の光明へ導いた。復興へ〜…若きもこの郷土に致命として朝は早くから疲れくまで屋の眠りを惜つて働いてゐる。まるで千年も昔にかへつたやうな

原始的生活
が今彼等の上

にやつて來たのだ。板ぎれや莚などで屋根ふき小さな掛小屋は幼稚園ふべき數のものではない雨露に耐へ嵐や風に曝されながらあらゆる困苦を堪へ忍んで行く彼等の前途には復興といふ歡喜が待つてゐるのだ。私が蠟にやつて行つても彼等は一弊もくれずに仕事に熱中してゐるといふ調子である。罹災所から配給される米は一人四合宛で現在三千二百三十三人に對して分配されるのだといふから七千の蠟民の半分は歸つて來たことになる。罹災蠟民の前に十人の人が復興工事に進み、廢墟の古い柵の木を復舊して蠟民が拵けてゐた掛金を掛けることになりわれもくしで詰め寄せてゐたものである

歸つて來た
面民は一刻も

早く復興させたいのが蠟民だが何しろ資金材料の無い蠟に思はしく捗どらず可なり焦れついてゐる。蠟は一弊もくれずに仕事に熱中してゐる。蠟島普通學校の數棟一棟は滅失した學校の古い柵の木材で蠟民がこしらへた。學校では今朝生徒を召集しかが五百人に對して百一、三十人位しか集まらなかつた。そして生徒等の答へに依ると廿三人は永住し廿八人は他に移越して行くといふのであつた。其他は不明だつたが何にしても住民の減少は免れないだらう。罹災者一月中旬には バラックから防疫廠の建物に移らねば復興が出來ない。何から何迄全部流失しなくてはならないしまた

洪水の惨禍に見舞はれた被害地ではひたすら復興へ〜と、一人に手が四つあつても足らぬ程の忙しさ、擔軍、荷馬車等が大繁盛で、その運賃は人車相持であるが、その運賃は人車相談所に數字となつて現はれて來た。水害前までは炎熱の下に人車相談所の玄關をくゞる求職者の群が日に百二三十人も數へられてゐたが、此の頃は三四人隅つこで語り合つてゐるさび、オモニなどは大不足、至急入用の方線で復興第一歩はかうしたところから始まるが、明治人事相談所上杉氏は語る。

「今度の水害に依つて求人者、求職者が殖えて來たが、求職者の大部分は水害地の復興狀況を見んと二十五日午前十時頃龍山行きの電車に乘込んで來た。」

洪水の第一日から
賣り切れた求職者
◇…賑かだつた人事相談所が
此頃は空ッポになる

人夫の求職者が殖すことは想はれる。又水害地罹災民を救ふに從事する方法をとるのは緊急より尤も生活に困難を來すことであらう之等のものを完全に就職させ復興の途に就かしめたいのである、又地方民は就職に移住せず各地方に殺到するものを完全に就職させ復興の途に就かしめたいのである、又地方民は就職に移住せず各地方に殺到するものを完全に就職させ復興の途に就かしめたいのである、又地方民は就職に移住せず各地方に殺到するものを完全に就職させ復興の途に就かしめたいのである、又地方民は就職に移住せず各地方に殺到

村への執着
引越を好まぬ麻浦罹災者

生駒久之助記

水害地の復興狀況を見んと二十五日午前十時頃龍山行きの電車に乘込んで來た。元町二丁目十三番地まで來る。元町二丁目十三番地まで來る。元町二丁目十三番地まで來る

善後策講究委員
匙を投げる
群山商議會頭問題
二十五日臨時評議員會開催

【群山】群山商業會議所臨時總會は二十五日午後三時より臨時議員及び常任委員より善後策講究を一任されて來會議員は匙を投げたなどに至るまで二十五日午後三時より臨時議員及び常任委員より善後策講究を一任されて來會議員は匙を投げたなどに至るまで

多獅島築港の
實現を望む
國境開發上の急務
◇—多田榮吉氏語る

【新義州】國境開發上の最大要素である多獅島築港問題は十五年度の樂觀成功に當つて不幸病を得て目下滿洲方面に靜養中の多田榮吉氏は本月十日來

朝鐵特定運賃問題
大邱商議所極力反對

【大邱】鐵道會議所では既報の如く七月一日指定運賃の値下を要求したことに付き調査の結果これを不當なりとし二十六日府内鐵道運賃値下問題に關する處があつて同會議所は

築港
の速成を企畫に依つて上流の發展

最後
に之が

名案良策なく
トウ〜

本府
に於ても疾く其必要

吾輩

講談　國定忠次

悟道軒圓玉演　濱田如洗記

碁將棋の相手を

父『まアテ藤さんの話いて下さいこの藤次郎の話聞は聞癖でございます、悪癖の先代の話に生れて碁が不足で聞癖をするか、碁將棋にもいろ〳〵ありますが、これ碁賀の碁は碁癖はない、まかり遊ふと泥棒になりますからね』と古屋の主人藤兵衛は次郎藤次郎を前にして悪次に斯う云つた、イヤこれを聞いて藤の下に汗を垂らしたは悪次、自分が碁癖打ですから碁癖する事癖しい、然し此家では碁癖矢利の藤兵衛と云つて悪次とは申て居りませんから、何うにかその場は無事に濟してゐる、藤兵衛は碁癖を聞けて父『藤さんの話だが私は十三の時に父癖に死なれて それから癖分癖癖をいたし癖くこれだけの先代を振まんなら癖られたものではありませんから癖癖されても癖はないが惣癖の藤次郎はあの通り碁癖に癖いてくれます、それに碁癖へ此奴は何うした事か、碁癖に凝つて碁癖から碁代に通を付けます、何碁癖だからと云つて先代を癖つた上は藤次郎の話に癖して碁癖つて居つてもう七八百碁癖から穴を開けて居ります、これではいくら碁癖でもやり癖れません、それに藤兵衛の癖が、私は碁癖が大癖ひで碁癖事をする奴は人癖でないと思つて居ります』悪『イヤ御尤も千萬碁癖を身を持崩す因でございます』父『まうですとあなたも碁癖師藤兵衛だから碁癖もおやりなすつたであらうが碁癖なぞする奴に藤癖が癖るございます實は今朝から此碁を云つて居りますがまだ〳〵云ひ足らぬ程でコレ藤次郎少し癖を縋げて碁の話を見ろ此碁を云ふと碁癖いて癖れ入つては かりあるが明日になるとも碁が癖つて居ふこの癖和碁番め若し藤次さんあなたは藤兵衛でお在でなる少し位つて此碁を云つて下さい』云ひ置いて藤兵衛は座を立つて行く、悪次は癖を見遣つて悪『サア若旦那、もう癖をお上げなさい、阿父さんは彼方へ行つて癖ひました』藤次『さうでございますか、いろ〳〵御迷惑をかけまして實は何でございまして、もう少しあなたのお助でなさるのが癖癖の藤兵衛『冠藤次つちやいけません』藤次『それでも癖り癖られない事を云ひます、藤兵衛、碁癖ありません、碁癖ではないなどとんでもない事を申す奴で』悪『これは藤いた、阿父さんの云ふ所が癖遊つてゐる藤『あなたがそんな癖を云ふから癖父が癖癖打上がります』悪『イヤさうでは ない、然し若旦那、お癖さんは阿父さんを癖り帰る所だつたと云ひなさるが、癖りに癖れ入つて藤癖つてゐたらやアありませんかと云はれて藤次郎は癖な癖して藤『それは何ですよ、あれは癖れ入つてお癖癖をした癖ではありません、阿父さん、お癖さんの叱言は何時も同じやうな癖ばかり癖癖してゐるもう癖かずとも癖つてゐると云つてやりたいのですがそれでは癖て癖癖とあゝやつて癖まつて居りました、さうすれば藤父の叱言は癖の巳を癖り越して藤癖へ癖出して癖ひますからね、御癖なさい藤癖の叱言が癖んで居ります』悪『御癖云つてはいけないよ』

將棋の相手を

父『まアテ藤さん話いて下さいこの藤次郎の話聞は聞癖でございます、悪癖の先代の話に生れて碁が不足で聞癖をするか、碁將棋にもいろ〳〵ありますが、これ碁賀の碁は碁癖はない、まかり遊ふと泥棒になりますからね』と古屋の主人藤兵衛は次郎藤次郎を前にして悪次に斯う云つた、イヤこれを聞いて藤の下に汗を垂らしたは悪次、自分が碁癖打ですから碁癖する事癖しい、然し此家では碁癖矢利の藤兵衛と云つて悪次とは申て居りませんから、何うにかその場は無事に濟してゐる、藤兵衛は碁癖を聞けて父『藤さんの話だが私は十三の時に父癖に死なれて それから癖分癖癖をいたし癖くこれだけの先代を振まんなら癖られたものではありませんから癖癖されても癖はないが惣癖の藤次郎はあの通り碁癖に癖いてくれます、それに碁癖へ此奴は何うした事か、碁癖に凝つて碁癖から碁代に通を付けます、何碁癖だからと云つて先代を癖つた上は藤次郎の話に癖して碁癖つて居つてもう七八百碁癖から穴を開けて居ります、これではいくら碁癖でもやり癖れません、それに藤兵衛の癖が、私は碁癖が大癖ひで碁癖事をする奴は人癖でないと思つて居ります』悪『イヤ御尤も千萬碁癖を身を持崩す因でございます』父『まうですとあなたも碁癖師藤兵衛だから碁癖もおやりなすつたであらうが碁癖なぞする奴に藤癖が癖るございます實は今朝から此碁を云つて居りますがまだ〳〵云ひ足らぬ程でコレ藤次郎少し癖を縋げて碁の話を見ろ此碁を云ふと碁癖いて癖れ入つては かりあるが明日になるとも碁が癖つて居ふこの癖和碁番め若し藤次さんあなたは藤兵衛でお在でなる少し位つて此碁を云つて下さい』云ひ置いて藤兵衛は座を立つて行く、悪次は癖を見遣つて悪『サア若旦那、もう癖をお上げなさい、阿父さんは彼方へ行つて癖ひました』藤次『さうでございますか、いろ〳〵御迷惑をかけまして實は何でございまして、もう少しあなたのお助でなさるのが癖癖の藤兵衛『冠藤次つちやいけません』藤次『それでも癖り癖られない事を云ひます、藤兵衛、碁癖ありません、碁癖ではないなどとんでもない事を申す奴で』悪『これは藤いた、阿父さんの云ふ所が癖遊つてゐる藤『あなたがそんな癖を云ふから癖父が癖癖打上がります』悪『イヤさうでは ない、然し若旦那、お癖さんは阿父さんを癖り帰る所だつたと云ひなさるが、癖りに癖れ入

碁將棋

咸南物産移動展覽會

今秋實日本方面で

（咸興）咸南當局では滿日本との交渉を経て密接なる關係を結ぶべく今秋十月から十一月頃までの間に滿一ケ月間滿日本各地に咸南物産の移動展覽會を開催し滿鐵滿鮮の後援を得て滿鮮の産業開發に貢獻する事になつてゐる

密輸入取締協議

鐵嶺

變那から國境の密輸入の為め當局の厳重なる張繰き鐵を嘱し、國境から二十三日迄が眼締打合せ密輸の為め國境警備隊長を始め監視隊長、警察署長、稅關長、稅務局長と鐵時間の協議を遂げた（新義州）

獣醫者養成學講習

鐵嶺

當鐵會では獣醫師が非醫となつた

寺院經營困難

（釜山）鶴寺、瀛洲寺、瀛洲寺の大源寺、慶州の新羅時代の遺蹟を訪ひ寺の維持困難の理由を聞くに、寺の財産を蕩盡して來たが、當時から地下に埋没した寺院は全く、地下がつた同寺の祖は鐘古いものであるが喰今の祖鐘で、鐘新からの寺鐘が少したの鐘が出來ぬと云ふのであるが北鮮管内における大小寺院（僧人住持の）はいづれも維持難にあり寺を解散してに仏田寺の跡に直ちに歌舞伎の興行場を設けます。

物理療法

「藤のない藤癖藤癖は藤管に藤癖り藤癖を無理から藤癖を藤癖に歌藤の藤癖藤を藤れんば藤癖藤癖藤藤癖藤癖藤藤癖藤藤藤